

## 石材の圧縮強度試験の供試体について

石材の圧縮試験をご希望の場合、供試体は以下の内容となります。

- 石材の圧縮強度は、JIS A 5003(石材)、JIS A 5006(割ぐり石)に準じて行います。
- 当センターでの成形は行っておりませんので、供試体の形状は、幅 10×厚さ 10×高さ 20cm に成形した上、持ち込み下さい。  
※JIS 規格形状ではありませんが、φ10×20cm でも試験可能です。
- 端面処理は、表. 1 の種類で硬石(古生層石灰岩など)と判断される角柱供試体のキャッピングをお断りする場合がございますのでご了承下さい。
- また、石材の種類によっては最大荷重(破壊時の荷重)が試験機の能力を超える場合がありますので、試験実施時に表. 1 の硬石と確認され試験機の能力を超えると判断された場合は破壊に至る前に試験を中止し、そのときの荷重をもって圧縮強さを報告致しますのでご了承下さい。

表. 1 圧縮強さによる区分

種類	圧縮強さ $N/cm^2$ ( $Kgf/cm^2$ )
硬石	4903(500)以上
準硬石	4903(500)未満 981(100)以上
軟石	981(100)以下



準硬石程度：キャッピング可

写真1. 白石：琉球石灰岩



硬石：キャッピング不可  
破壊前に中止の可能性有り

写真2. 黒石：古生層石灰岩、宮良石灰岩